



— 大谷八幡宮の秋祭り“お神楽の昼と夜” —

安全就業と新たな就業場所の確保
 理事 田口丈夫

会員の皆様には、日頃から、当センターの事業運営に対し、仕事を通じ多様なご協力とともに、ご尽力頂いておりますことを心よりお礼を申し上げます。

5月1日、平成から令和に元号が変わりました。令和元年度になるのですが、シルバー人材センターの事業計画・予算につきましては、2月に理事会で決定され4月から新年度でスタートしておりますので2019年度と整理させていただいておりますことをご了承ください。

さて、国では急速に少子高齢化が進展、介護療養の増大、人口の減少という見通しがあり、その対策として働き方改革が進められております。今後70歳からの年金生活が進むかと思っております。

そうした中、シルバー人材センターを取り巻く環境は大変厳しい状況が全国的に続いている

2019年度定時総会開催

令和元年5月30日、会員162名(議決権行使書提出者380名)が出席し、また、来賓に内野市長や倉橋市議会議長等の出席を賜り、定時総会が盛大に開催されました。

総会では、平成30年度決算や、役員選任等が承認されました。

総会での田口理事長及び内野市長の挨拶の要旨は、次のとおりです。

銀のわ

公益社団法人
 海老名市
 シルバー人材センター
 海老名市
 杉久保北二丁目3-4
 Tel 046-237-3001
 Fax 046-238-0071

会 員 数	613 名
男 女	153 名
合 計	766 名
(令和元年7月末現在)	

また、市では「3M」の戸別収集が9月末から始まり、その業務の一部を担わせていただいているところで、業務も増えるので、会員さんのご協力を頂きたいと思っております。

今後、厳しい社会情勢ではありますが、会員の皆さまの健康と安全を優先した運営を心掛けながら、地域の方々に愛されるシルバー人材センターにしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

こうした中、公的機関の受注が増えつつありますが、一方、民間の受注は若干減っていることから、さらに、営業活動を行い仕事の確保を進めていきます。

30年度の実績ですが、会員数が74名で前年度同程度となっております。また、受注金額は、派遣を含めて、3億1,684万9千円で、28万7千円増えた状況です。受注件数は、634件で、個人宅の植木せん定等の受注が96件・2.6%の減、就業率は80%で前年度比1.4%の減となっております。

また、会員さんには、毎年事故防止のお願いをしている中、特に刈払機の飛び石事故が多くありましたが、前年度は刈払機の新しい機械を取り入れ、飛石事故が無くなったという結果でした。しかしながら事故件数は21件で前年度より3割ほど増えています。安全適正就業委員会での事故の検証をし、会員さんに安全就業の意識高揚に努めたいと思っております。さらに今年度は、第二高齢者生きがい会館が開所され、その管理をシルバーに任せていただき、そして従来のリサイクルプラザの仕事も拡大した事業を受注させていただきました。これにより、更なる就業拡大につながる結果になると思っております。その事業については、約5,000万円増える見通しです。

人生100年と言われる中、暑さ厳しいお暑さ厳しいお熱中症等に気を付けて就業して頂き、会員の皆様の安全・健康を願います。

(R・M)

皆様からいろいろなご意見を頂きながら考えていきたいと思っておりますので、今後ともご協力をよろしく願っています。

今年度は、特に家庭系ごみの一部有料化・指定収集袋による戸別収集を9月30日からスタートいたします。反対意見もありましたが議会の協力もあり、議案が通過し、現在準備を進めております。

しかしながら、大きな課題もあります。これまでは集積所での収集でしたが、塵芥車で直接収集していましたが、今度は戸別収集ですので相当の人員が必要となります。

そのため、北部地区をシルバーにお願いし、他地区の集合住宅は業者に委託する予定です。その他は、臨時職員による対応とともに、私を含めた市職員約40名を対象とした収集業務研修を考えております。

市民の方々にご負担をかけるわけですから、市の職員自らが研修を受けてやっていくことと考えております。このやり方が第一ではなく、これからは、地域の皆さんが行政から賃金を得て、みんなでごみ収集をやっていくという話も出てくるかもしれません。そうした時には、シルバーの存在が大切だと思っております。

こうしたことから、シルバーは現在高齢者生きがい会館にありますが、第二高齢者生きがい会館も整備しました。

北部や東部など、身近な地域にシルバーの拠点として、さらに数か所必要と思っております。そこに地域の皆さんが集結して地域の仕事をやっていくことが理想ではないかと考えております。

身近な地域に拠点を
 海老名市長 内野優

シルバー人材センターの田口理事長をはじめ、会員の皆様には昨年一年間大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。

年号が令和になりました。今年皆さんのご協力をお願いしたいと思います。

今年度は、特に家庭系ごみの一部有料化・指定収集袋による戸別収集を9月30日からスタートいたします。反対意見もありましたが議会の協力もあり、議案が通過し、現在準備を進めております。

しかしながら、大きな課題もあります。これまでは集積所での収集でしたが、塵芥車で直接収集していましたが、今度は戸別収集ですので相当の人員が必要となります。

そのため、北部地区をシルバーにお願いし、他地区の集合住宅は業者に委託する予定です。その他は、臨時職員による対応とともに、私を含めた市職員約40名を対象とした収集業務研修を考えております。

市民の方々にご負担をかけるわけですから、市の職員自らが研修を受けてやっていくことと考えております。このやり方が第一ではなく、これからは、地域の皆さんが行政から賃金を得て、みんなでごみ収集をやっていくという話も出てくるかもしれません。そうした時には、シルバーの存在が大切だと思っております。

こうしたことから、シルバーは現在高齢者生きがい会館にありますが、第二高齢者生きがい会館も整備しました。

北部や東部など、身近な地域にシルバーの拠点として、さらに数か所必要と思っております。そこに地域の皆さんが集結して地域の仕事をやっていくことが理想ではないかと考えております。

スキルアップで 就業機会の 確保!

安全就業と就業機会の確保に向け、ベテランの会員を講師に各種講習会を開催しました。4月15日の植木の剪定(初心者)講習会に9名、そして6月13日・14日の2日間にわたる除草(刈払機)講習会に12名の会員が参加しました。

今後も各種講習会を開催しますので、スキルアップを目指して奮って参加し、就業機会の確保に取り組ましましょう。

なお、10月以降、除草、家事援助及び網戸・障子・襖の張替えの講習会を予定しています。詳細は、改めてご案内します。



植木の剪定

除草(カルマー使用)

各講習会の様子

お知らせ

就業相談等の日程

4月~11月	12月~3月
毎月第2~4木曜日	毎月第3・4木曜日
午後1時30分~3時	午後1時30分~3時

*相談がある場合は、事前に電話にて予約してください。

●配分金の支払い日

配分金の支払いは、毎月20日です。ただし、支払日が土・日曜日や祝日に当たるときは、繰り上げて支払います。

●会報等の発行

会報は、年3回(5月・9月(10月)・1月)発行しています。今後も紙面の充実に取り組み、情報提供を行ってまいりますので、会員の皆様のご意見などお寄せください。

また、地域班回覧物も、年3回予定しています。

事務局からの連絡とお願い

令和に改元、新しい時代の幕開けとなりました。近年、何かと世間を騒がせる社会問題が多くなっておりますが、平穏な日々を過ごせるようお願いいたします。

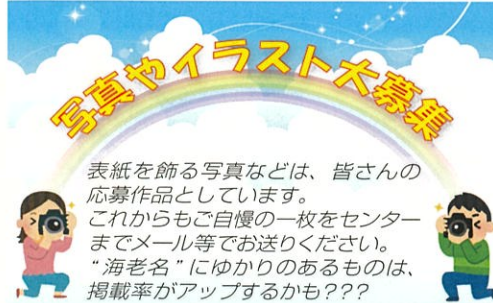
令和になり今月初めの編集会議、新たな気持ちで会員の皆様に役立つ情報を発信できるよう努めてまいります。

今第78号においては、5月末開催されました定時総会の様子や、本年4月新たに第二高齢者生きがい会館が開設され多くの会員が就業している状況を紹介することができました。紙面編集には、会員皆様からの情報提供が必要不可欠です。これからもご協力のほど宜しくお願いいたします。

人生100年と言われる中、暑さ厳しいお暑さ厳しいお熱中症等に気を付けて就業して頂き、会員の皆様の安全・健康を願います。

(R・M)

編集後記



みんなで安全就業を目指そう!!

平成30年度中の事故は、24件(うち非適格行為3件)でした。前年度(16件)と比較すると8件増加しています。

こうした中、昨年10月初旬に全会員宛て「安全就業の徹底について」という啓発文書をお送りしましたが、その後も“うっかり”“大丈夫だろう”といった不注意や気の緩みが原因と思われる多数の事故が発生しています。

2019年度も既に3件の事故が発生しています。いずれも不注意によるものです。

もう一度、安全チェックシートによる事前確認など安全対策を徹底するとともに、体調管理を怠ることなく、“危機意識”と“緊張感”をもって作業にあたってください。

なお、**受注の無い作業や、作業日程の報告が無いときに事故等が発生した場合は、保険の対象にならないことがありますので注意してください。**

(平成31年1月1日~令和元年5月末現在)

区分	発生日時	発生場所	事故発生内容	指導内容
1 物損	3月6日(水) 14:00頃	今泉中学校	レーキ(熊手)を使って除草作業をしていたが、レーキを作業場所脇に一時置いたところ、レーキに気づかず軽自動車(ワンボックスカー)がレーキ鉄製部分を踏みつけ走行し、車両左後輪をパンクさせてしまった。	口頭指導(1名)
2 物損	3月26日(火) 9:00頃	センター作業室	センター内作業室において、戸襖・障子を張替える際、計16枚を壁に立て掛け作業を行った。その際、物置の扉前に置いたため、物置内から出ようとした人が扉を開けたところ、戸襖を倒してしまい、作業機の角に戸板部分が接触し破損させてしまった。	口頭指導(1名)
3 物損	4月19日(金) 12:50頃	センター敷地内	センター敷地内において軽ダンプをバックさせようとしたところ、後ろに控えていた軽バンに気づかず接触、シルバー所有の軽バン前部を破損させてしまった。	文書指導(1名)
4 物損	4月29日(月) 11:30頃	本郷地内(駐車場)	駐車場草刈作業において、旧型刈払機を使用したため、約8m離れた駐車車両に石が飛散し、車両フロントガラスを破損させてしまった。	口頭指導(3名)
5 物損	5月9日(金) 10:50頃	海西中学校	敷地内の草刈作業中、同校所有の旧型刈払い機を使用したため、約7m四方に石が飛散し、その石でガラス戸の一部と付近に駐車していた車両を破損させてしまった。	口頭指導(3名)



定時総会の様子

表彰の受賞

●受賞者(順不同)

熊川 浩、志村喜一、八代勝義、渡部和彦、宇留江セ子、味水貞男、大沢安太郎、手塚忠勝

会員表彰・8名

15年以上在籍かつ10年以上の就労経験(満80歳以上の者)

監事の選任

(退任) 清田 芳郎
(選任) 谷澤 康徳

受賞者

また、日常からお互いの知識、経験等相互に共有し業務内容の向上を図るとともに、和気あいあいと就業されているのが印象に残りました。



会 員 ひ ろ ば

就業場所紹介・第二高齢者生きがい会館

平成31年4月1日、杉久保北に、第二高齢者生きがい会館がオープンし、これまで別々の施設で行われていた家具や自転車の再生・販売、粗大ごみの受付などの業務が、一か所に集約されました。ここでは、大勢のシルバー会員の仲間が就業されています。

今回は、その仲間の就業内容の一端をご紹介します。

大きな特徴は、第二高齢者生きがい会館の運営全般がほとんど会員によりなされていることです。

業務の主な内容は、施設管理業務、施設清掃業務、粗大ごみ関連業務(電話受付案内・搬入受付・収集・解体・搬出)、自転車と家具の再生及び販売業務です。

就業されている仲間は、安全第一を考え自転車の再生を行うこと、粗大ごみの処理に役立ちたい、家具の再生により資源の有効利用を図ることなど、意識を高く持ち就業されています。取材する中、これには感銘を受けました。

第1回理事会(4月)

協議・報告事項等

- 入会申し込み者承認について
- 平成30年度事業実績及び決算・監査報告の総会提案について
- 監事の選任に係る総会提案について

議題

- 2019年度被表彰者の選考について
- 定時総会における役員の役割分担について

第12回理事会(3月)

協議・報告事項等

- 部会及び委員会(自主事業推進委員会、広報部会)の実施報告について

議題

- 入会申し込み者承認について
- 平成30年度2月までの事業実績及び予算執行状況について
- 部会及び委員会(自主事業推進委員会、広報部会)の実施報告について

2019年度理事会

理事会だより

理事会を月1回開催しています。毎回、次の議題等を審議するとともに、入会申込者の承認を行っています。

第4回理事会(7月)

協議・報告事項等

- 2019年度6月までの事業実績及び予算執行状況について
- 部会及び委員会(安全適正就業委員会、広報部会)の実施報告について

議題

- 入会申し込み者承認について

第3回理事会(6月)

協議・報告事項等

- 部会及び委員会(安全適正就業委員会、広報部会、全体地区長会議)の実施報告について
- 各種講習会の結果及び開催予定について

議題

- 入会申し込み者承認について

第2回理事会(5月)

協議・報告事項等

- 部会及び委員会(安全適正就業委員会)の実施報告について
- ネットワークニュースについて
- 理事長・副理事長及び常務理事の職務執行状況について

議題

- 入会申し込み者承認について
- 2019年度4月の事業実績及び予算執行状況について